

# 児童の安全な登下校について

## (台風等異常気象及び南海トラフ地震臨時情報発表時)

近年、ゲリラ豪雨や雷などの気象状況の急激な変動や、南海トラフ地震の発生等によって児童の安全な登下校に支障をきたす状況が予想されます。

その場合、児童の安全第一の視点から、下記のような対応をしたいと思っています。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



### I 【異常気象等の場合】

次のような、児童の安全な登校に支障をきたす状況の場合は、保護者の判断により登校を一時見合わせる事ができる。

《具体的な状況》

- 落雷の危険性がある
- 豪雨
- 道路の冠水
- 河川の氾濫
- がけ崩れ
- 家屋の倒壊
- 大規模な停電により信号機が機能していない 等

※ 警報発表時においては、「警報発表時における児童の登下校」(P6) に従う

※ この場合、始業時刻に遅れても遅刻扱いとはしない。

※ メール配信により、下記のような内容で登校の見合わせをお知らせする場合があります。なお、メールが届かないご家庭につきましては、通学班の方にお問い合わせください。

《登校時の対応》 \*通常より1時間、または2時間遅らせる。

\*交通立ち番の交差点は、職員が見守る。(保護者の立ち番中止)

インターネットにより配信される気象庁等の雨雲レーダーからの予測をもとに、通学班での登校、始業を1時間、もしくは2時間遅らせます。

【メール文例】

「雨風が非常に強く、雷も発生しているため、登校を○時間遅らせます。  
いつもの○時間後に集合場所へ集合し、通学班で登校してください。  
□時10分までに登校することになります。」

《下校時の対応》 \*下校時刻でも学校に待機させ、風雨が弱まってから下校させる。

\*方面別の主な交差点まで職員がついていく。

予定されている下校時刻に雨風が強く危険な場合、一旦学校へ待機させ、雨風が弱まってから下校を始めます。下校後に予定がある場合は、学校までお迎えをお願いします。

【メール文例】

1回目配信…

「下校時刻になりましたが、雨風が非常に強いので、児童は学校へ待機させます。」



2回目配信…

「風雨が弱まりましたので、方面別で下校を開始します。」

## 2 【「南海トラフ地震臨時情報」発表の場合】

情報内のキーワード	対応
・ 調査中 ・ 巨大地震警戒 ・ 巨大地震注意	○ 続報に注意し、通常通り教育活動を続ける。 ○ 地震への備え、発生時の対応について再確認する。 ○ 状況によっては、保護者の方に来校していただき、引き渡すこととなります。 ※ 校外学習中（修学旅行、野外教育活動を含む）の場合は、安全な場所に児童生徒を集合させた後人員点呼を行い、帰校する。状況によっては、児童の命を守ることを最優先に、帰校するかどうか校長が判断する。
・ 調査終了	平常通りの教育活動を継続する。

※ 校区の状況を確認し、児童生徒の命を守ることを最優先し、児童に行動ついてメール配信でお知らせします。

## 3 【校区内及び近隣校区で事件性のある不審者情報があった場合】

① 児童の安全な登校に支障をきたす状況の場合は、保護者の判断により登校を一時見合わせるができる。

※ メール配信により、登校の見合わせをお知らせする場合があります。

② ①のために始業時刻に遅れた場合は、遅刻扱いとはしない。

